

西岡見聞録

11月の西岡公園見どころは!?

11月の園内では、いよいよ木々は葉を落とし、冬の準備が始まります。足元から聞こえてくる落ち葉のサクサクと心地よい音に耳を傾けながら、散策を楽しむのはいかがでしょうか？葉が落ちたことで、野鳥を観察するには良い季節でもあります。これから季節は渡来してくるヒレンジャクやキレンジャク、ベニヒワ、マヒワ、ツグミ、ウソなど多くの冬鳥が見られます。水源池が結氷するまでは珍しい水鳥にも出会えるかもしれません。森の中では鳴き声だけではなく、キツツキのようにドランギングする音を頼りに野鳥を探すことも出来ます。寒い季節になりますが、ぜひ双眼鏡を片手に西岡公園を散策してみませんか？皆様のご来園お待ちしています。

【西岡公園で11月に見られる野鳥たち】

(日本野鳥の会 2015.11.1 札幌支部HPより)

- | | | |
|----------|----------|---------|
| ・オオハクチョウ | ・トビ | ・ヒヨドリ |
| ・マガモ | ・コゲラ | ・エナガ |
| ・コガモ | ・ハシブトガラス | ・ゴジュウカラ |
| ・ホオジロガモ | ・ハシブトガラ | ・ツグミ |
| ・カワアイサ | ・ヒガラ | ・スズメ |
| ・カツツブリ | ・シジュウカラ | |

【ヤマセミ】

水源池の結氷前の時期に
多く見られる傾向があるようです。
今年は1月に目撃情報が
数件寄せられました。



【クマゲラ】

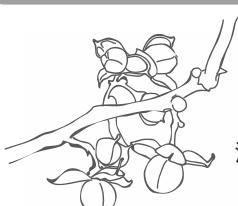
カラスのような真っ黒な体に
ペレー帽を被ったような赤い頭。
1965年に国の天然記念物に指定。
鳴き声は「キヨーンキヨーン」

アイヌ語で
「チフタ・チカッフ」
丸太舟を膨らむ鳥と
呼ばれていた。



【ツルウメモドキ】

[蔓梅擬]葉の形が梅に似ている事が
名前の由来。
淡黄色の果実が3つに裂け、仮種皮に
包まれた橙赤色の種子が見られる。



マガモやキンクロハジロ、ハシビロガモ
カワアイサなど水源池が結氷するまで
水鳥の姿を楽しめます。

【水源池の結氷】

水源池の結氷は
毎年11月下旬～12月上旬頃
昨年は11月25日でした。

自由広場

見晴台

築堤横の
ヨーロッパトウヒ

結氷：池などの水面が
凍結すること

パーゴラ
広場

取水塔

花木
広場

管理
事務所

駐車場の階段上の
オニグルミ

管理事務所横の
オンコの実

【エゾリス】

出会える時間帯は
早朝の2～3時間と夕方がオススメ♪
エサを求めて管理事務所の
周辺でよく目撃されます！



【エゾリスの好物】
ヨーロッパトウヒなどの球果
(松ぼっくり) やクルミ、ドングリ、
果実、昆虫、キノコなど

濡れた落ち葉の上は
滑りやすくなります。
散策の際には、
長靴や冬靴で
お越しください。



【トンボの道内終見日】

晩秋まで見られる寒さに強いキトンボは
11月14日。
個体数が多いアキアカネは
11月24日。

キトンボは羽が橙色のトンボ。
アキアカネはよく見られる
赤トンボと言われるアカネ属の
トンボのこと。